



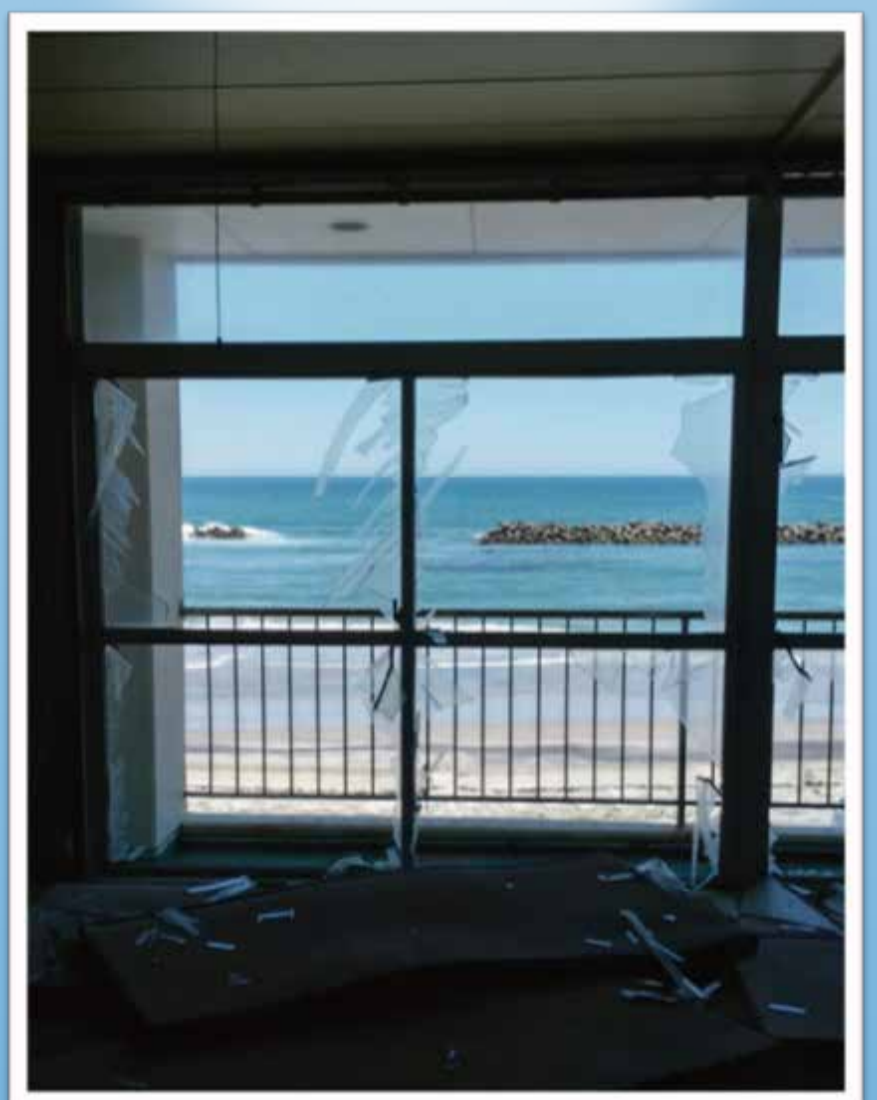
第16刊
2015年6月30日発行
Tsukuba for 3.11
編集長：オン碧
題字：小中大地

双葉町視察

2015年6月7日(日)、わたしたちはつくば市内に避難されている双葉町の方の一時帰宅に同伴させていただきました。五時間と制限されている滞在時間のなかで、双葉町内の各所を視察してまいりました。

双葉町は福島県浜通り地方の中央部に位置し、町の南側に隣接する大熊町とまたがるように東京電力福島第一原子力発電所(以下、原発)があります。震災直後、原発の影響を受けて帰宅困難区域に設定されました。

双葉町に着くと最初に検問を受け一人一人に防護服と線量計を渡されました。車窓からは黒い袋に包まれた放射線汚染物質や廃棄物がいくつも積まれているのが見えました。4年の月日が経った今も施設や家屋は当時のまま残されており、一面に生い茂る草木には田んぼや畑の面影はすっかり無くなっていました。



特に衝撃的だったのは津波の被害を受けたマリンハウスふたばの様子でした。マリンハウスふたばは双葉海浜公園の海の家で、震災前は無料で使えるシャワーや休憩室を提供していました。当時の津波の高さは16メートルで、建物の3階まで押し寄せたそうです。窓ガラスは破壊され、天井は剥がれ落ち、足元には流れ込んできた砂が残っていました。画像や映像で見るとは訳が違い、実際に現場を見ると3階まで押し寄せた波の様子は想像もつかず、ましてやあんなに綺麗な海が、あの日豹変してしまったことさえ、信じられませんでした。

実際に現地に赴くことで、自然災害の脅威、復興に立ちはだかる困難についてわずかですが理解することができました。また、メディアを通して得た情報を鵜呑みにせず、直接自分の目で見て耳で聞いて状況を知ることの大切さに気付かされました。今回の視察での経験を、これからのTsukuba for 3.11の活動に生かしていきたいです。

活動報告会 2015

Tsukuba for 3.11 では、4月21日、28日に、活動報告会を行いました！

Tsukuba for 3.11 としての活動は、今年で5年目になります。これまでの4年間、私たちは、大学生である自分たちに何ができるのか、何をすべきなのか、ということを考えて活動してきました。

今回の報告会は、そんな活動を通してメンバーが思ったこと・考えたこと・感じたことを、団体以外の人にも伝えるということを目指しました。報告会当日には、多くの方が来てくれ、団体のメンバーによる団体の紹介や活動を通して経験したことについての話を聞いてもらったり、一緒に“復興ってなんだろう？”というテーマでディスカッションをしたりしました。



前述した通り、団体のこれまでの活動やそれを通して感じたことを伝えることが今回の報告会の目標の一つですが、それと同時に、この報告会を通して、来てくれた方が被災地や震災について考えたり行動したりするきっかけになると良いなとも考えています！私たち Tsukuba for 3.11 は、今後も活動を続けていくと同時に、その活動を通して得たこと学んだことを伝えていくこともしていきたいです♪



担当：瀧田溪吾

勿来スタディツアー

五月二十四日に、福島県いわき市の勿来地区に行ってきました。
一年生の募集を兼ねたこのスタディツアーには、一年生九人が参加しました。
錦須賀、岩間、小浜の海岸沿いを回り、勿来復興プロジェクト事務所でお話を聞いた後、アクアマリン福島を訪れました。

2015.05.24 (日)

担当：加古、菊池、村本



←一部完成した防潮堤

@錦須賀



↑建設中の防潮堤 @小浜

これから活動をする上で、現状を知っているのと知らないのでは、自分の行動に違いが出てくるのと思います。その意味で、今回のスタディツアーはとても充実させることが出来ました。
特に、印象に残っているのは防波堤です。防波堤・防潮堤については、講義を通してある程度知っていました。でも、直接現場を見ると、その目の前に立ちただかる壁の問題点は思っていたよりも大きいものでした。海が見えないことに不満を持つのか、安心感を抱くのか、恐怖感を感じるのか、様々な思いが交錯しているように思いました。



←体験談@事務所

また、今回のスタディツアーで感じるだけでなく、学ぶこともありました。それは「視点の転換」です。なこそ復興プロジェクトの方やアクアマリンふくしまの方のお話を聞いて、その活動の力となっているのは「今の自分たちだから出来ること」という発想でした。その視点が人々に与えた意志は、強くて、心ひかれるものでした。
今後の活動において、感じたこと・学んだことを生かしていきたいと思えます。まずは、スタディツアーで体験したことからはじめます。私たちの行動がこれから出会う人々の一助となれるように、頑張ります！
最後に、企画してくださった先輩方、お話を聴かせてくださった方々、貴重な体験をありがとうございました。



復興民へ思いをつなぐ

つくしまリレーインタビュー

今回は、我々と同じ筑波大学の学生である、山下史雅さんにお話を伺いました。山下さんは比較文化学類の三年生で、「みにぷろ」という活動の代表をされている方です。みにぷろでの活動内容や、福島に対する熱い思いを話して頂きました！

山下さんは震災当時、高校生でした。その時から何かできることはないかと考えていたそうです。大学でつくばにやってきて、実際に自分の目で現状を見ようと考え、二〇一四年一月、みにぷろを結成されました。

みにぷろは、主に福島の南相馬といわきを拠点とし、福島の現状を知る、現地の方々と交流することを目的に活動していच्छやいます。ただ、みにぷろには団体というものが存在しません！ボランティアとは違った形で、また誰でも気軽に参加できるようにということで、固定のメンバーを作らず、現地に行く計画を立てる毎に参加者を募るといった新しいスタイルを展開しています。

これまでみにぷろとしては5回の訪問を行っており、山下さん自身は昨年だけで十回以上も福島を訪れたといっています。学生でもつくばから行きやすいこと、福島の被害は目に見えるものではなく、複雑であると感じたことから福島を拠点に活動されているそうです。

活動するうえで山下さんが心がけていることは、現地の方とお話をしていく中で何かできることを見つけしていくことと、現地に行つて「悲しい」で終わるのではなく、次につなげていくこと。現地の農家さんが作ってくださった美味しい料理を食べたり、関心のある南相馬、小高にある大悲山の石仏を見に行ったりと、参加者自身が現地での体験を自分自身のものにする、活動を楽しむことを大切にしているといっています。

「今後の抱負は？」と尋ねると、「個人レベル、友人レベルで福島と関わっていけたら。そして、周りの人が現地の状況に関心を持つようになるなど、ほんのわずかな意識の変化、小さな広がりというものを作っていきたい。」と話して下さいました。

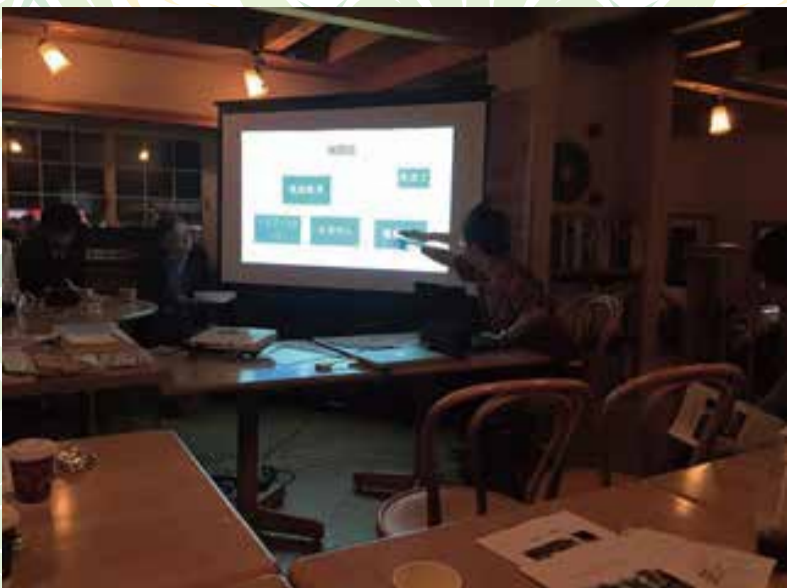
現地の方から、「実際に足を運んでくれるだけで嬉しい、様々な人に福島の現状を知ってほしい」という声をかけて頂いたそうで、これからもFACEBOOKなどのSNSを利用して現地の情報を発信していききたいと力強く語ってくださった山下さん。まぐろのように動き回っていないと気が済まないという、とてもアクティブな方でした。今回取材をさせて頂いて、改めて同じ学生として大きな刺激を受けました。Tsukuba For 3.11 もみにぷろに負けることなく、様々な形で今後も福島と関わっていきたいと思えます！

インドネシア視察研修報告会

前回のつくしまで紹介したインドネシア視察研修に関する報告会が
5月7日に福島県いわき市で開催されました。当日は、僕たち筑波大
生や研修を主催したなこそ復興プロジェクト（以下、復興プロ）の方、
更には阪神・淡路大震災の被災地を訪問した芝浦工業大学の学生によ
る発表がありました。

翌8日には復興プロが進めて
いる防災緑地事業で使用するド
ングリの苗木の選定作業が行わ
れ、約500個のポットをつく
りました。

2日間の様子は復興プロのホ
ームページでも紹介されている
ので、ぜひご覧ください！



担当…霜鳥太一

やどかり祭に出店しました！

5月30日(金)・31日(土)に、筑波大学にて第41回やどかり祭が開催されました。
私たち Tsukuba for 3.11 も、30日の前夜祭に出店させていただきました。

やどかり祭とは、筑波大学平砂地区一帯で行われる、新入生主体のお祭りです。
毎年、学生による模擬店や、ゆかたコンテスト、御輿などの様々な企画で盛り上
がります。

私たち Tsukuba for 3.11 は、「東北ほっくほっく亭」
として、ホルモン丼とマスカットサイダーを販売し
ました。当日は、予報通りあいにくの空模様となっ
てしまい、販売が一時中断されるハプニングもあり
ました。試食会や看板製作など前々から準備を重ね、
一同出店を心待ちにしていたので残念でした。

しかし、販売中は客足が絶えず、たくさんの方にお
いしさを味わっていただくことができました。今回
の出店が、東北により一層興味をもって頂くきっか
けとなっていたら嬉しいです。



11月上旬に開催される、筑波大学学園祭「雙峰祭」
にも私たち Tsukuba for 3.11 は出店する予定です。
お時間ございましたら、ぜひいらしてください。

担当 室井紬



しゃべり場

春のイチゴ狩り

4月29日（水祝）、桜老人福祉センターで、「しゃべり場」が開かれました。「しゃべり場」は、福島県浪江町出身の古場夫妻によって、毎月一回企画されています。恒例行事です。毎回たくさんの方々が参加されています。



収支報告がありました！



慎重に吟味中...

午前中は、いつものにぎやかなおしゃべりタイム♪
午後からは、おまちな☆つくばねファームにてイチゴ狩りです！ビニールハウスに解放された約50名ものストロベリーハンターたち…。むしむしした湿度にも負けず、いちごを口いっぱいにはおぼっていました。



イチゴうめえええ～



まっかなイチゴ♡

「しゃべり場」は、私たち Tsukuba for 3.11 によって、定期的に避難者さんと交流できる、貴重な「場」です。この「場」をこれからも大切にしていきたいと思っています。

担当：恩田 怜

イベント紹介

つながろう！楽しもう！福島ジュニアフェスティバル

今年の夏...

私たち Tsukuba for 3.11 は福島の子供たちに
思いっきり身体を動かしてもらいたい、たくさん友達を作ってもらいたい
という思いのもと、
筑波学院大学の学生さんと合同で
「つながろう！楽しもう！福島ジュニアフェスティバル」
を開催することにしました。

グループ対抗のゲームや筑波大学のサークルに教えてもらう
アクティビティ、さらには BBQ 食べ放題など
当日はワクワクするような企画が目白押しです！！

さらに付き添いで来てくださった親御さんには
お茶会やなかなかできないセグウェイ体験も準備しておりますので、
そちらもぜひ楽しんでいただければと思います。

たくさんの子供たちの参加お待ちしております！！



今年の夏はたくさんの友達と思いっきり
身体を動かして楽しもう！！



- ☆対象
福島から茨城に来られた小学生、中学生
- ☆日時
7月12日（日）10：00～16：00
- ☆場所
筑波学院大学

※ただし、先着40名となります。
あらかじめご了承ください。



申し込みはこちらから → <https://goo.gl/33uaTm>

担当：福井俊介

つくば おすすめ スポット

夏はイベントがたくさんあるので、今回はこの夏行われるイベントを紹介しちゃいます！！

2015年7月24～25日

つくばクラフトビアフェスト

つくばセンター駅にて行われるこの夏にぴったりなイベント！！

ビールはもちろんビールにぴったりなごはんも出ます！

2015年7月4日～7月7日

つくばセンターに七夕飾りが・・・！毎年綺麗なものはかりです。ぜひみにきてくださいね。

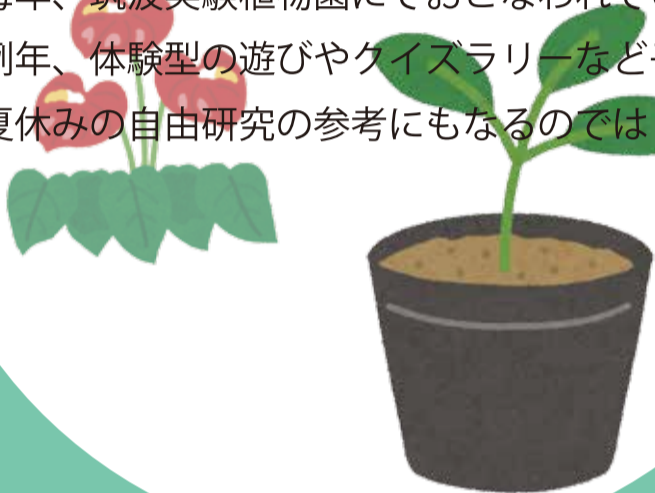
2015年7月22日～8月2日

夏休み植物園フェスタ

毎年、筑波実験植物園にておこなわれています。

例年、体験型の遊びやクイズラリーなど子供達がたのしめるイベントが盛りだくさん！！

夏休みの自由研究の参考にもなるのでは！？



8月末にはもちろんまつりつくばが！！！！
たのしみですねっ！

メンバー紹介

社会・国際学群 社会学類 4年

上林直人

出身 岩手



生命環境学群 生物資源学類 2年

黒田枝里

今回のメンバー紹介は黒田枝里さんです。

黒田さんは昨年に Tsukuba for 3.11 に加入し、勉強やバイト、他のサークルも忙しい中、震災復興の活動に精力的に参加されています。滋賀県出身の彼女は大学に入る前から、震災に興味があったようで、比較的入学後すぐに私たちの団体を訪ねてくれました。当時は1年生のメンバーが彼女だけで、不都合を感じた場面も多かったと思うのですが、そのようなことは微塵も感じさせず、上級生である私たちも、もっと頑張らねば、と奮起させるような仕事ぶりであったことを鮮明に覚えています。徐々に責任のある仕事も増えてきたようで、



多忙ながらも不慣れな仕事を正確にこなしています。団体の核になっていくであろう彼女に今後も期待したいです。

担当 松本一平

頭の体操 ♪

めいろ

なんとなくじめじめした感じの続く梅雨の時期。

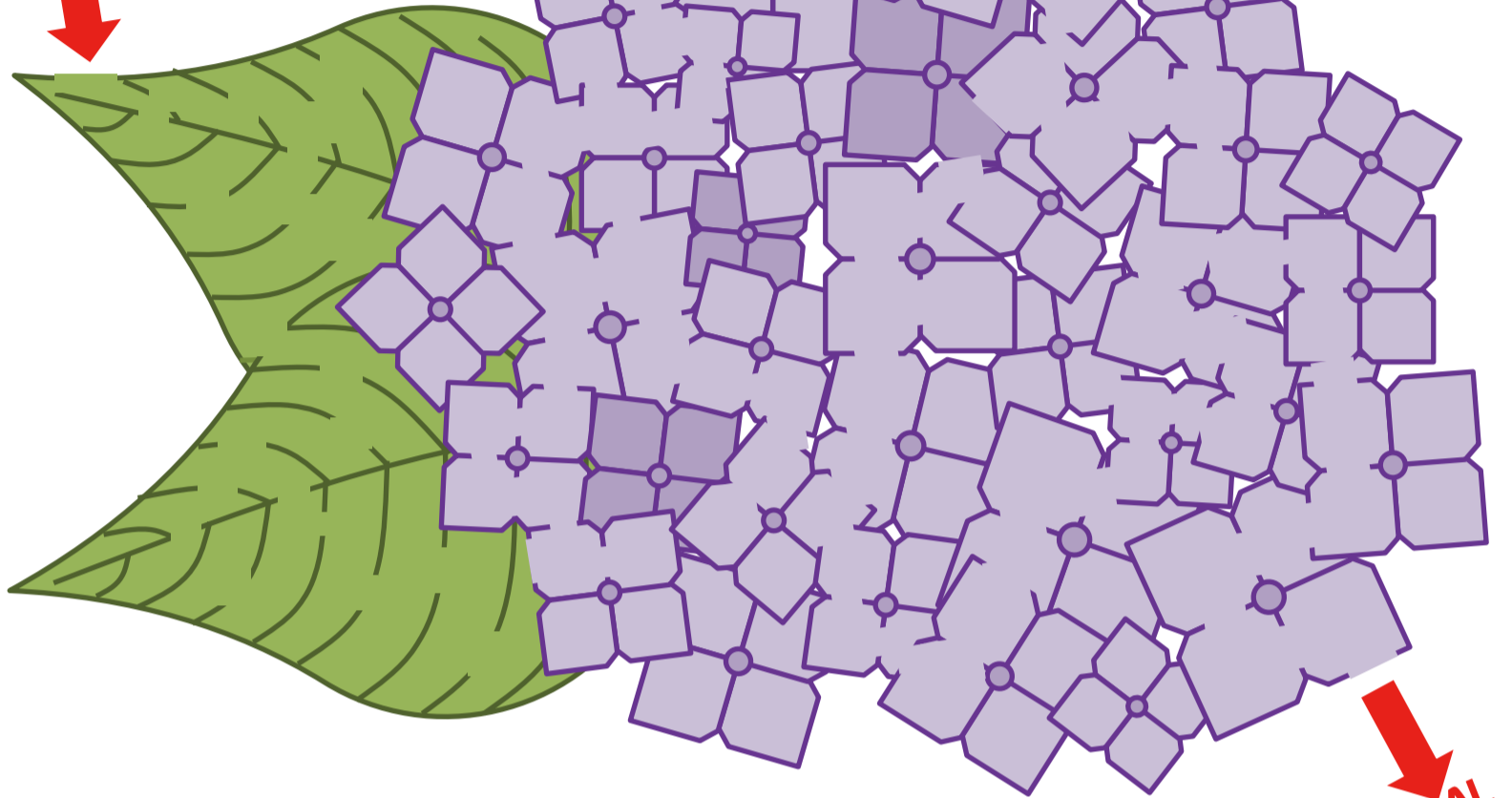
そんな梅雨の花といえばあじさい！

今回のつくしまではあじさいをモチーフにしためいろをつくってみました。

雨の日にぜひおうちで挑戦してみてくださいは??

担当：下田梢

START



GOAL

編集後記

この春、つくば for 3.11 にも 8 人の新しい仲間が増え、最近の活動が何やら華やかになったような気がします。日差しが力強くなり夏バテ気味になってる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そもそも夏バテは、ビタミンやたんぱく質の不足、不十分な休養で招かれてしまいます。そのため、食事は色々な食材をバランスよくとり、冷たいものはなるべく控えるようにするのが夏バテ対策のポイントです。

ではここで、夏バテ対策の食材をご紹介しますね！

疲労回復に持ってこいの食材はクエン酸が豊富なかんきつ類。旬の野菜は、その時期に必要な栄養を豊富に含んでいるため、かぼちゃやトマトなどの夏野菜を豊富に使ったレシピは夏風邪の防止になります。うなぎや豆腐・枝豆・豚肉などはたんぱく質を多く含んでいるためスタミナがたまりますよ！ぜひ参考になさってください。しっかり休養をとり、モリモリ食べて夏を元気に乗り越えてくださいね。

最後までご愛読いただきありがとうございます。

それでは、次回のつくしまもお楽しみに～！

↓こちらもお覧ください

☆ホームページ：<http://tsukubafor311.jimdo.com/>

☆Facebook：<https://www.facebook.com/tsukubafor311>

☆Twitter：[@tsukubafor311](https://twitter.com/tsukubafor311)

